

空手道聖龍会の教育目標

聖龍会が掲げる目標は、門下生の未来を構築していける“力”を養成することにあります。わが国の武道精神、文武両道そして躰を通して、日本の未来を支える人材の育成に寄与することを趣旨に格差社会での勝ち組になるためにどのようにしたらよいのか、優良企業に就職をしてどのようにしていけば出世に結びつくのか、起業をした場合どのようにすれば成長していけるのか、などなど幼少時より他の子供たちより一歩も二歩も進歩できる“精神と体力に知力”の養成を教育目標といたします。

教育目標十項目

1. 責任感・誠実さ

責任感が強く、誠実な人でなければ、安心して仕事を任せることはできません。責任感と誠実さを兼ね備えた人物を育成いたします。

2. 素直さ・態度の良さ

業務を進めていく上では、上司の指示や会社命令に従わなければなりません。また、仕事を覚えていくには、先輩や上司からの指導を素直に聞き入れることが必要です。

3. 協調性

会社は組織で成り立っており、通常は、複数の人が連携して仕事を進めていきます。協調性に欠け、和を乱すことがあっては、業務の遂行に支障をきたします。

4. 行動力・積極性

与えられた仕事だけをこなす指示待ち人間は、大きなプロジェクトや重要なポストを任されることはありません。自ら、仕事を探し、問題点を見つけ出し、それに積極的に取り組んでいく人が、高い評価を受けます。

5. 意欲・向上心

常に現状を改善していこう意欲の高い人、仕事やスキル習得のための勉強に対しても向上心を持って取り組む人を、社会は必要としています。

6. リーダーシップ

組織、プロジェクトのグループを引っ張っていくポジションには、リーダーシップを持った人が必要です。周囲の人を巻き込んで、ムードを盛り上げたり、やる気を引き出したり、的確でスピーディな指示ができるようなリーダーシップを持った人材を育成しています。

7. 理解力・判断力

業務命令や問題点を瞬時に理解する理解力、最善の対策を行うための判断力に優れている人を、企業は求めているし考えます。理解力や判断力の高さは、業務効率に直結する能力です。

8. 表現力

理解力や判断力に優れるだけでなく、仕事上の指示や問題点を、周囲の人への確に伝える表現力も必要です。表現力に欠けていると、組織としての仕事のスピードが落ちてしまいます。

9. 教養・スキル

社会人としての一般常識的な教養は当然として、業務を進める上での高度な知識・スキルを持つ“人”を育成しています。

10. 創造性・企画力

ユニークなアイデアをひらめいたり、鋭い企画力を持った人材は、企業にとってとても貴重な人材です。たとえルーティンワークであっても、日々の業務の中で創意工夫する創造性は、とても重要な能力となります。

